

幸ちゃんのQ
& 福おじさんのA



Q: 幸ちゃん 今日電車に乗ってたら、途中の駅で車いすを使っている人が乗ってきたんだ！ 駅員さんと一緒に来て、ホームとドアの間に板置いて乗ってきたんだけど、どうして板なんか置いたんだら

う？

A : 福おじさん それは、ホームとドアの間の段差を平らな斜面にして車いすが安全に乗り降りするために必要なものなんだ。

Q: 幸ちゃん そうだったんだ！

普段気にしないくらいの段差でも、車いすを使っている人には危険なんだね・・・ところで、車いすはどんな人が使うの？

A : 福おじさん ケガや病気などで何らかの障がいがある方が使うんだよ。車いすは、車いすを使う人にとって、なくてはならないものなんだ！

Q: 幸ちゃん へー、街ではいろんな車いすを見るけど、みんな同じなの？

A : 福おじさん 車いすは大きく分けて3種類に分けられるんだよ。

1つは自分でこげるもの(自走式)

2つ目は自分ではこげず介助してもらうもの(介助式) 3つ目は電動式のものだよ。

自走式車いすは、後輪の外側の輪(ハンドリム)を回すことで前後に進むことができるんだ。

介助式車いすは、移動操作を介助者がおこなうことを前提につくられていて、自走式と違い後輪の外側に輪はついていないんだ。

電動式車いすは、車輪を電動モーターで駆動する車いすだよ。ジョイスティックとよばれるレバーを操作することで前後左右に動くことができるよ。その他にも、使う人の体形や体の状態に合わせているから、いろんな車いすがあるんだよ。

Q: 幸ちゃん 車いすを使っている人には不便はな

いの？

A : 福おじさん ちょっとした段差や階段など、車いすを使わない人が何気なく使っている道でも、車いすを使っている人には大きな障害になることがあるんだ！ さっきの電車のホームとドアの



間なんかもそのひとつだよ！

車いすを使っている人だけでなく、目の見えない人でも、知的障がいがある人でも助け合い、支えあいながら生活していこうというソーシャルインクルージョン(社会的包容力)の考え方が大切になってくるんじゃないかな。

Q: 幸ちゃん そっか・・・

何か私にできることないのかなあ。

A : 福おじさん 幸ちゃんは優しいねえ。

そうだね、まずは、車いすを使っている人の目線を知ることから始めるといいんじゃないかな。

車いすに乗ってみて、あるいは押してみても、どんな場所が不便と感じるのか、どんなところに怖さがあるのか体験してみよう。体験することで気づくことはいっぱいあると思うんだ！

いろいろなどころで車いす体験は実施しているから、調べて行ってみるといいよ！ 最近では、11月24日下福田小学校4年生77名が福祉学習の1つとして車いす操作等体験されたよ！

Q: 幸ちゃん 聞いたよ！ まずは知ろうとすることが大事で、どんな人でも住みやすい街にしていきたいね！ 11月3日(日)ふれあい広場の「社協車いす体験コーナー」で車いす操作を体験してきたよ。

年末たすけあい募金合計

19,924 円でした。

平成25年12月4日(水)いなげや大和高座渋谷店入口2ヶ所で、16名で募金活動を行いました。ご協力いただきました募金額は 8,699 円でした。

皆さまからいただきました“善意の募金”は民間社会福祉団体の活動支援等に活用されています。なお、10月の募金額は11,225円でした。

ご協力に感謝申し上げます。



募金活動に参加されたみなさんです。